

さまざまな使い方ができ 普段使いにもピッタリ

5Sはスマホの音楽や、ナビアプリの音声案内を聴いたり、電話に出たり、ラジオが聞けたりするうえに、2人で会話もできるなど、ベーシックモデルでも機能が満載。また、日本語のボイスコマンド機能を搭載しているのもうれしい。ボタン操作なしにSiriを起動することも可能だ



スマホと
接続して
音楽が
聴ける

ナビの
音声案内が
聞ける

2人で
走行中に
通話が
できる

ラジオも
楽しめる



ベーシックモデルながら、最上位モデルの50Sと同じプレミアムHDスピーカーを採用。イコライザー機能と組み合わせることで、自分だけの快適なサウンドを楽しめる



マイクはジェットやフリップアップ式のヘルメットに使う外付けboomマイクと、フルフェイスヘルメット用のケーブルマイクを同梱。付け替えも簡単にできる

インターコムを “見ながら” 直感的に操作

今まであったようでなかった、インターコムが今どんな状態なのか？ということが一目で分かるLCDディスプレイを搭載。音楽、電話、インターコムといったモードがアイコンで表示されるほか、バッテリー残量や音量など、5Sの今が分かる。ペアリングをはじめ、目で見えてインターコムを操作できるのは画期的だ！



ヘルメットには付属のクランプユニット、もしくは貼り付け式マウントアダプターを介して取り付ける。本体同様、邪魔にならないコンパクトなのがうれしい

はじめてのインターコムなら これで決まり! SENA 5S

インターコムといえば“グループツーリングのコミュニケーション手段”というイメージが強いが、じつは今や通勤、通学、買い物からツーリングまで、ソロで走るときにも欠かせないツールだ。セナの新しいベーシックモデル「5S」は、そんなアナタひとりのためのインターコム。これからバイクに乗るときに、5Sはもう忘れて出かけられない存在になるだろう

写真／増川浩一 文／八百山ゆい
問：セナブルーーツージャパン <https://senablueetooth.jp>



SENA 5S

インターコムとしては画期的なLCDディスプレイを搭載したベーシックモデル。1対1のインターコム通話が最大約700mの距離でできるほか、音楽やナビ音声を楽しんだりできるなど、ソロ使いにピッタリのインターコムだ

価格:2万680円 発売日:11月20日
通信距離:最大700m
通話時間:7時間 充電時間:1.5時間
サイズ:76mm×48mm×30mm
(メインモジュール)
重量:48g (メインモジュール)

普段使いの インターコムとして

バイク用品店のインターコムコーナーを眺めると、ベーシックモデルからハイエンドモデルまでいろいろあるけれど、まずは最大通話人数や機能の多彩さでハイエンドモデルが目が行きがちだ。一方で、ベーシックモデルといえば、廉価版として機能や性能が劣る、というイメージが付きまとうことだろう。しかし、そんな常識を覆すベーシックモデルが今秋、セナから登場する。それが「5S」だ。

小ぶりの本体には、セナ・インターコムに定評がある大きなジョグダイヤルとともに、LCDディスプレイが付いている。ここには、今、何の機能が作動しているか、音楽の再生、停止といった各機能の状態、さらにはバッテリーの残量やボリュームも表示され、5Sの状態が一目で分かる。実はこうしたディスプレイ、今までのインターコムにはほとんど付いておらず、「今どういふ状態にあるか」ということを、目で見えて確認することは事実上できなかった。

特にインターコム通話をするときに欠かせない最初の「儀式」であるペアリング（インターコム同士を接続する操作）は、電波が目で見えないだけに、つながったの

かどうか分かりにくく、そこで戸惑うユーザーも少なくない。5Sであれば、そんなペアリングもディスプレイで確認しながら操作できるから、ツーリングの集合場所でもすぐに仲間とつながる。

5Sは自分ともう一人の相手と1対1でインターコム通話ができる、セナ・インターコムの中ではベーシックモデルという位置づけだ。でも、その機能は上位モデルに勝るとも劣らない。スマホの音楽やナビアプリの音声聞く、かかってくる電話に出たりかけたりする、さらには、FMラジオだとして聞くことができる。まさに、クルマに乗ってカーオーディオを使っているようなものだ。また、音の出口であるスピーカーも、ハイエンドモデルと同等のプレミアムHDスピーカーを採用している。

インターコムというと、ツーリングで一緒に走っている仲間と会話を楽しむためのアイテムと思われがちだ。もちろん、それも正解。しかし、最近は一りで走っているときの時間を、音で充実させてくれるアイテムとして使っているライダーが多い。そんな一人で使うインターコムだからこそ、週末のツーリングのときだけでなく、スクーターで通勤通学したり、ちょっとした買い物に出かけるといった日常の中で5Sは使いたい。